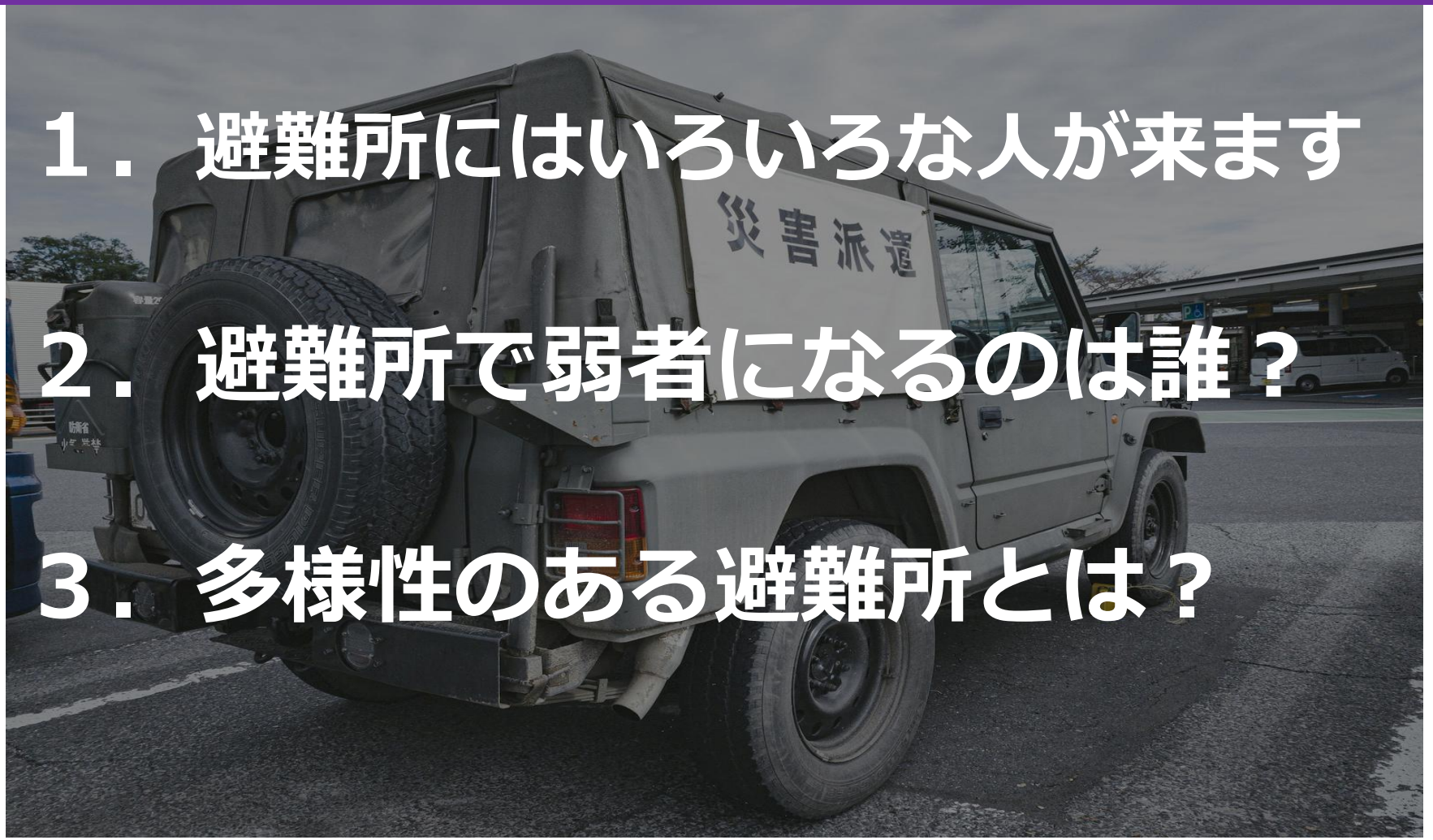
防災における「多様性」の視点

~あなたは避難所でどうしますか？~

藤枝市　男女共同参画・多文化共生課

講義の流れ



１．避難所にはいろいろな人が来ます

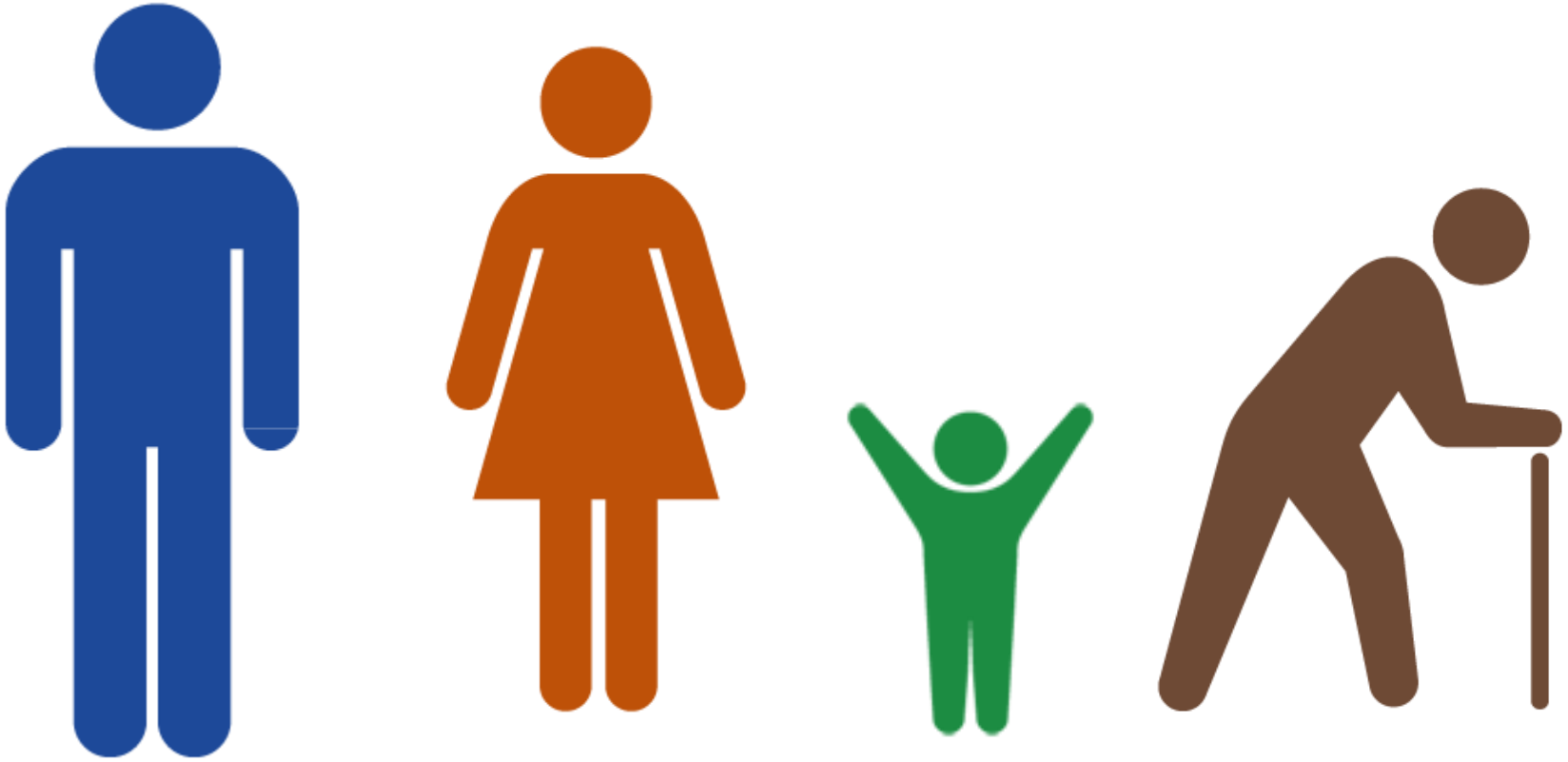
２．避難所で弱者になるのは誰？

３．多様性のある避難所とは？

１．避難所にはいろいろな人が来ます

１．避難所にはいろいろな人が来ます

避難所には誰がきますか？



●男性、女性がまず考えられます
●子どもやお年寄りの方も勿論です

１．避難所にはいろいろな人が来ます

避難所には誰がきますか？

●もっと細かく見ていくと、障害のある方や
妊婦、外国人、性的マイノリティの方などがいます

１．避難所にはいろいろな人が来ます

避難所にはいろいろな人がくる

↓

考え方や求めることがそれぞれ違う

↓

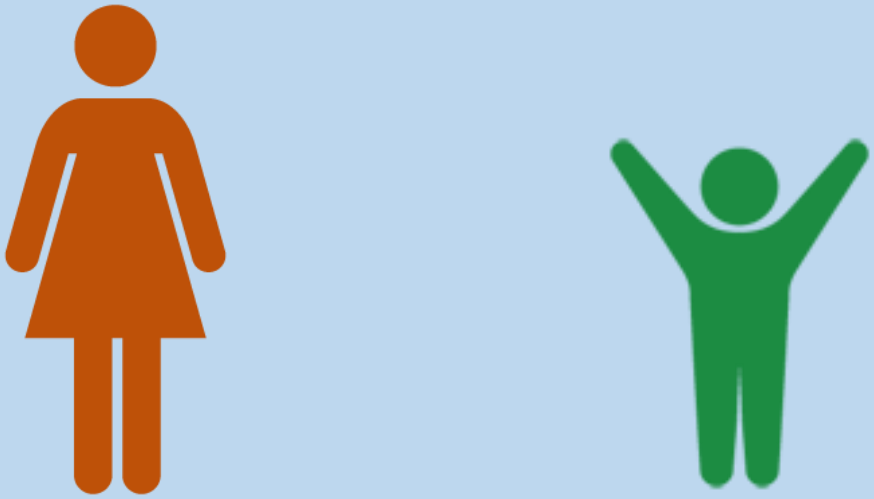
地域防災のあり方を考えるうえでは
女性を含め、計画段階から
いろいろな人が参加することが重要！

２．避難所で弱者になるのは誰？

２．避難所で弱者になるのは誰？

想像してみてください！

あなたは自分の娘や孫(女の子)と
避難所に避難してきました。



２．避難所で弱者になるのは誰？

想像してみてください！

- **避難所は、行政の職員もいなく、支援も不十分です。**
- **自分たちで避難所を運営しなければなりません。**

- **あなたは、娘と孫が避難所でよりよい生活をするためにどの様なことを考えますか？**

２．避難所で弱者になるのは誰？

過去の災害でこんなことがありました

- **生理用品が無く困った。**
  トイレットペーパーを使うしか
  なかった・・・

- **配布に際し、男性しかいなかった。**
  男性が配る生理用品を受け取りに
  行くのが恥ずかしかった・・・

- **授乳や着替えをするための場所が**
  なかった・・・

２．避難所で弱者になるのは誰？

ナプキンの種類・使い方はわかりますか？

・種類や使い方はいろいろあります。

・果たして男性が対応することができるでしょうか。

２．避難所で弱者になるのは誰？

過去の災害でこんなことがありました

- **下着を干す場所がなく、洗濯を我慢をした結果、肌が荒れてしまい、清潔を保つことが難しくなった・・・**

- **トイレに行くのを我慢していたら、膀胱炎になった・・・**

- **子どもが泣くので、避難所を出て車中泊を続けなければならない・・・**

- **避難所で、夜になると男の人が毛布の中に入ってくる・・・**

２．避難所で弱者になるのは誰？

「非常時だから我慢しろ！」そう言えますか？

抱える困難と支援ニーズは男性と女性で異なる

男性と女性で異なる災害の影響

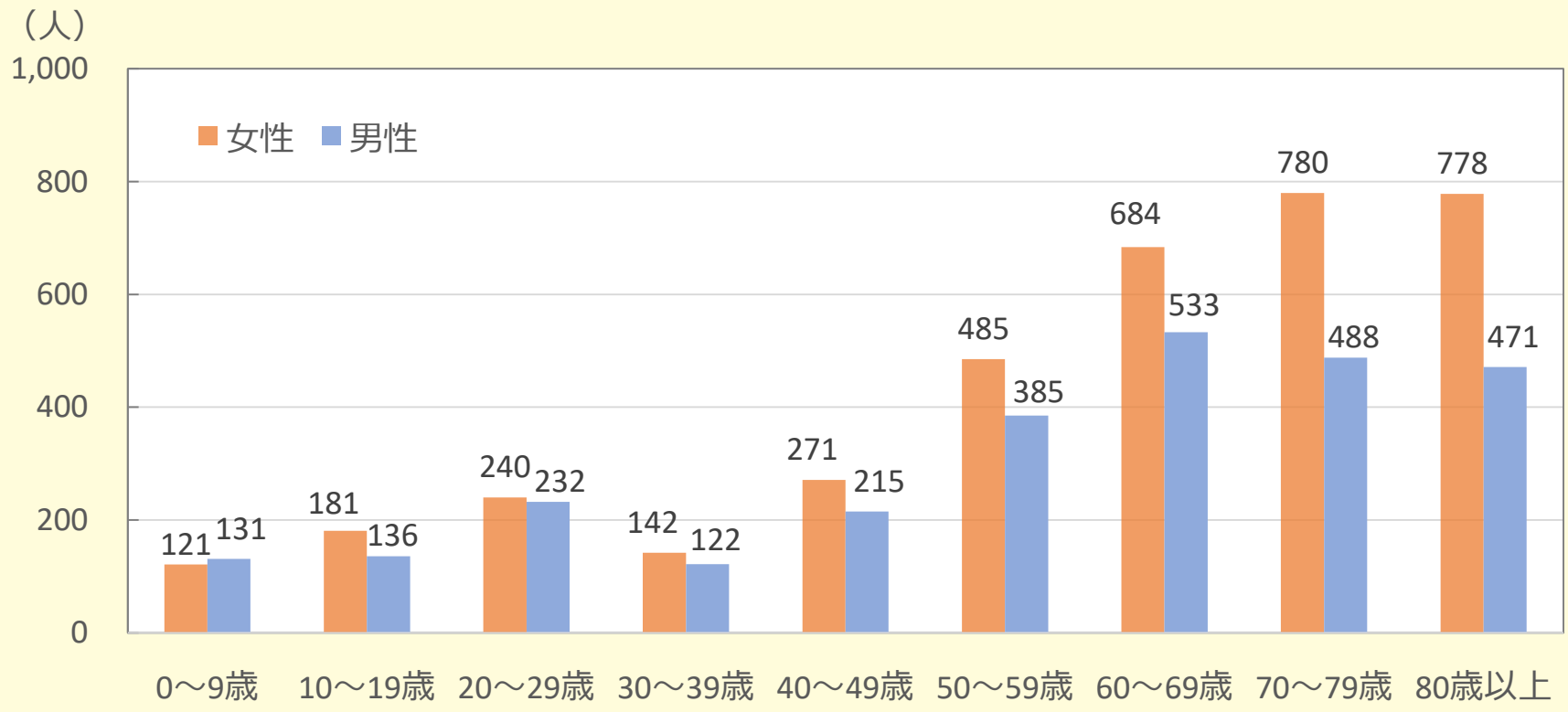
（例）

- 女性の死者が男性を上回る
- 男性に比べて女性は災害後の雇用状況や健状状況が厳しい
- 女性の方が避難所生活で不便を感じる
- 女性の方が暴力被害にあうリスクが高い

2．避難所で弱者になるのは誰？

参考データ　阪神・淡路大震災の男女別・年齢階層別死者数

阪神・淡路大震災における兵庫県の死者数は
女性は男性に比べ約1,000人多く、約**1.4**倍であった



（備考）　1．　兵庫県「阪神・淡路大震災の死者にかかる調査について」（平成17年）より作成。
　　2．　性別不詳，年齢不詳は除く。

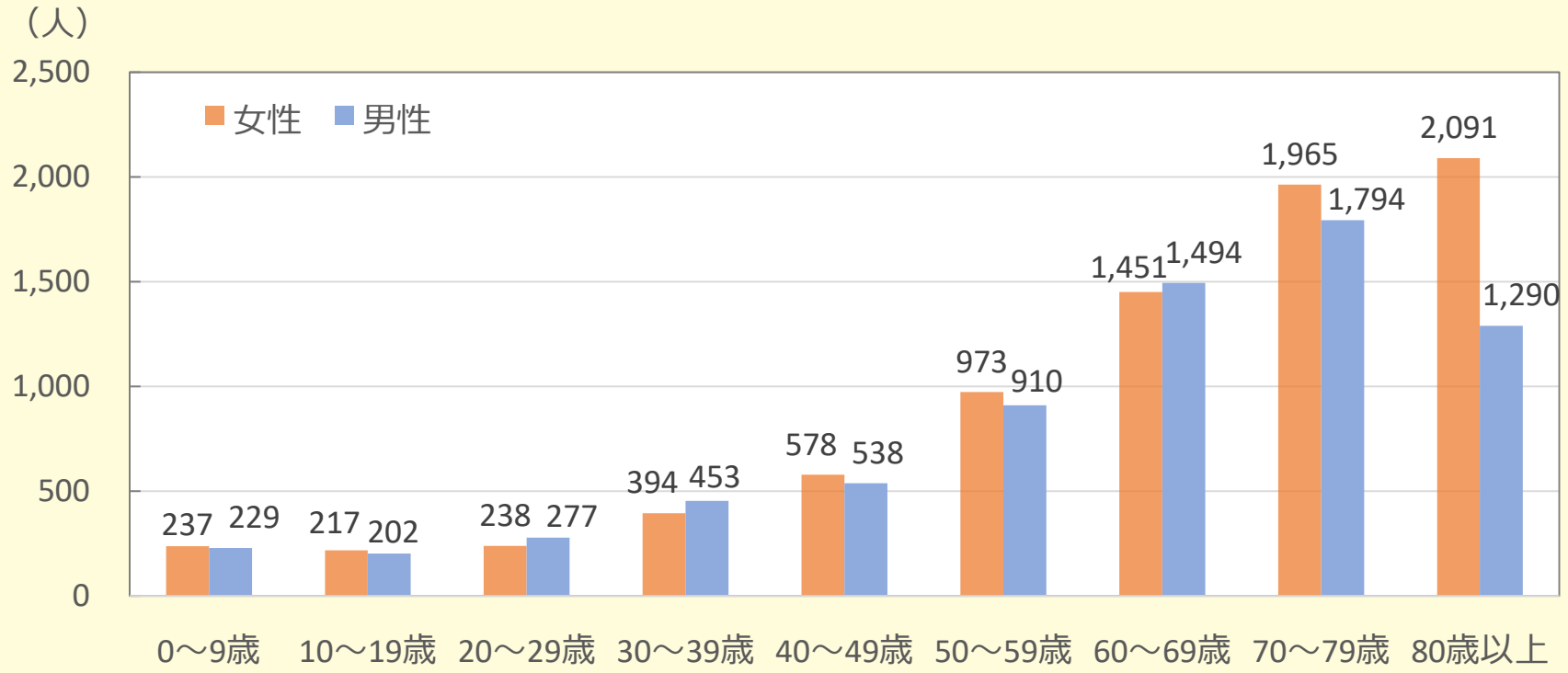
出典：内閣府「平成24年度版男女共同参画白書」

※能登半島地震のデータについて、まだ内閣府より公表されていないため、少し古いデータを使用しています。

2．避難所で弱者になるのは誰？

参考データ　東日本大震災の男女別・年齢階層別死者数

東日本大震災における岩手県、宮城県及び福島県における死者数は
女性が男性より**1,000**人程度多く、
高齢者で男女の差が大きくなっている



（備考）　1．　警察庁「東北地方太平洋沖地震による死者の死因等について【23.3.11 ～ 24.3.11】」より作成。
　　2．　性別不詳，年齢不詳は除く。

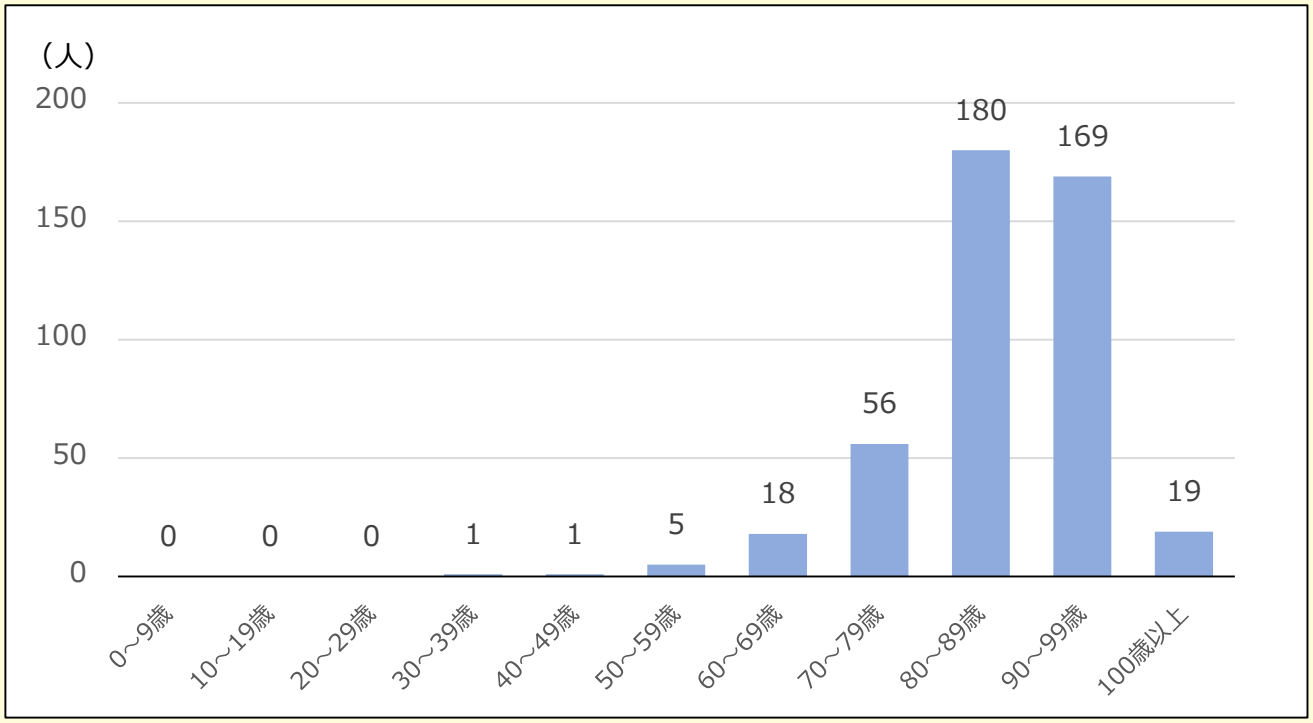
出典：内閣府「平成24年度版男女共同参画白書」

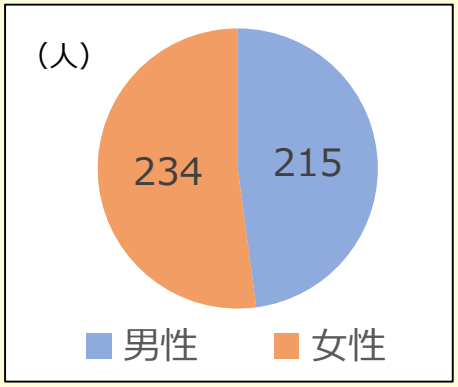
※能登半島地震のデータについて、まだ内閣府より公表されていないため、少し古いデータを使用しています。

2．避難所で弱者になるのは誰？

参考データ　能登半島地震の年齢階層別死者数・男女別死者数

能登半島地震における死者数は
女性は男性に比べ約19人多く、約**1.1**倍であった



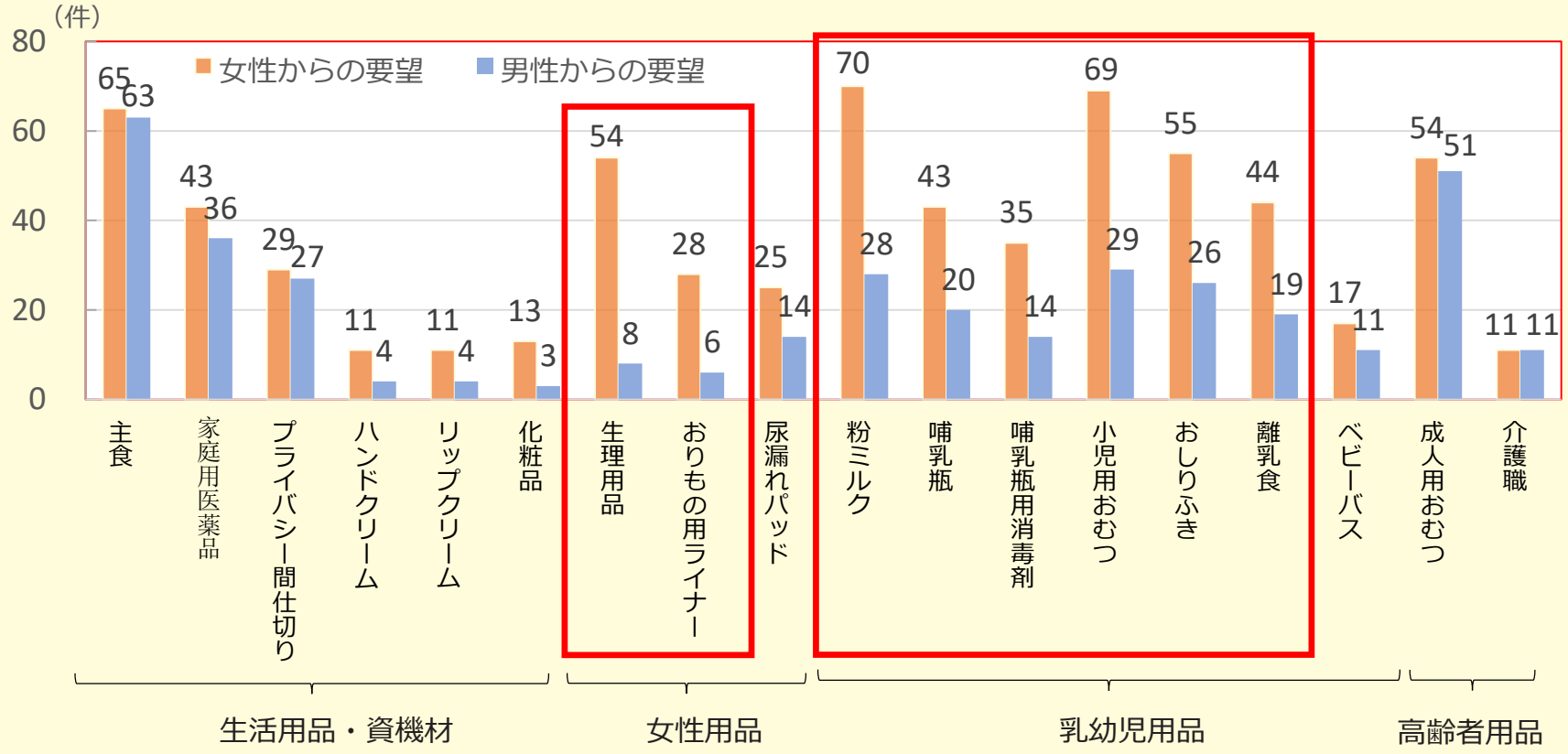


出典：石川県「令和６年能登半島地震における災害関連死の概況」

2．避難所で弱者になるのは誰？

参考データ　男性と女性で異なる 災害時の支援ニーズ

東日本大震災時、**女性用品**の他に、**粉ミルク**、**小児用おむつ**、**おしりふき**、**離乳食**等の**乳幼児用品**について、女性からの要望が多くなった



（備考）　1．　内閣府「男女共同参画の視点による震災対応状況調査」（平成23年）より作成。
　　2．　調査対象は，被災３県（岩手県・宮城県・福島県）の108地方公共団体の男女共同参画担当。調査時は，平成23年11月。

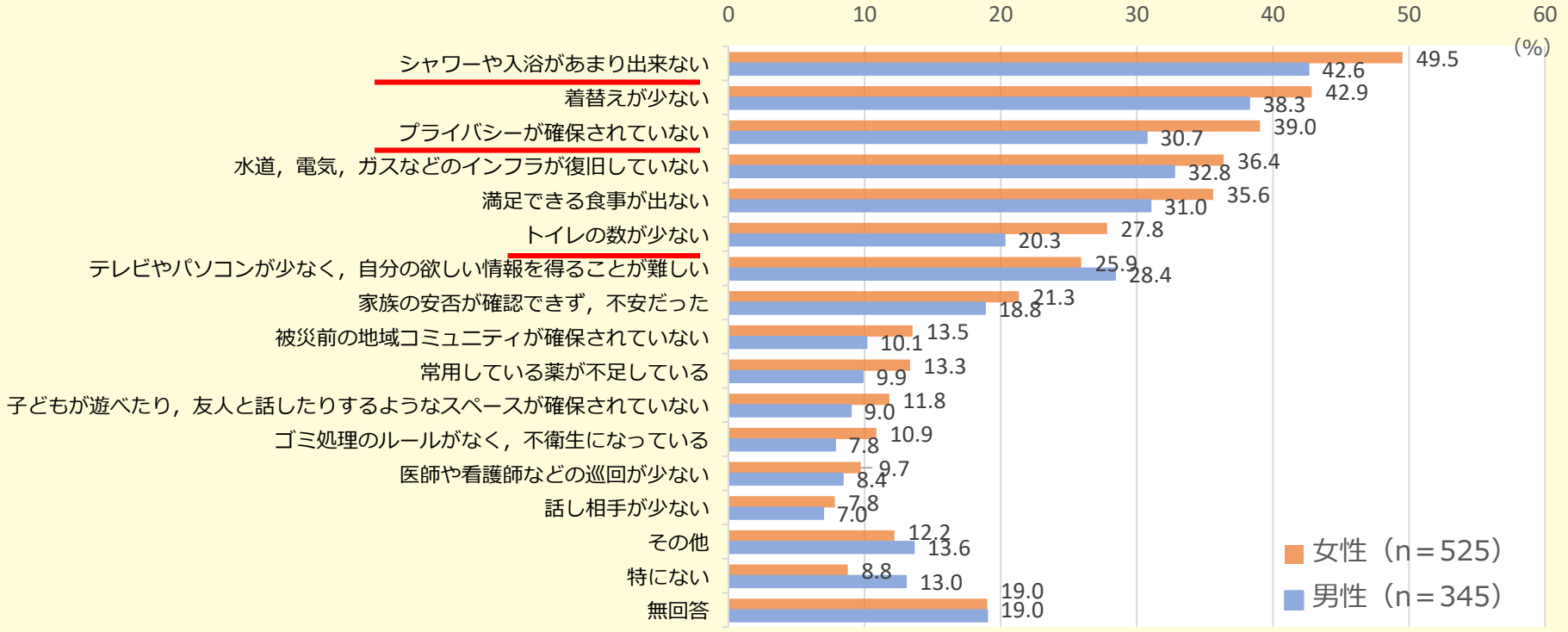
出典：内閣府「平成24年度版男女共同参画白書」

※能登半島地震のデータについて、まだ内閣府より公表されていないため、少し古いデータを使用しています。

2．避難所で弱者になるのは誰？

参考データ　東日本大震災直後からの避難所での生活

震災直後からの避難所での生活について困っていることとして、
女性は**「シャワーや入浴があまり出来ない」「プライバシーが確保」されていない」「トイレの数が少ない」**の割合が男性に比べて高い



（備考）　1．　内閣府・消防庁・気象庁共同調査「津波避難等に関する調査」（平成23年）を基に、内閣府男女共同参画局による男女別集計。
2．　調査対象は、岩手県、宮城県及び福島県の沿岸地域で県内避難をしている被災者870人（女性525人、男性345人）。調査は、仮設住宅・避難所を訪問し、面接方式で実施。
3．　調査時期は、平成23年７月上旬から下旬。

出典：内閣府「平成24年度版男女共同参画白書」

※能登半島地震のデータについて、まだ内閣府より公表されていないため、少し古いデータを使用しています。

２．避難所で弱者になるのは誰？

男性だから大丈夫というわけではありません

⇒男性でも
避難生活で困難に直面することがあります。

【例えば】

- **認知症の親との避難**
  (避難所で落ち着かず徘徊してしまう)
- **子どもを抱えての避難**
  (子育てに関わる父親が多いです)

- **復旧や復興の仕事が続き過労…**
- **住む場所が変わると孤立し、**
  アルコール依存や孤独死…

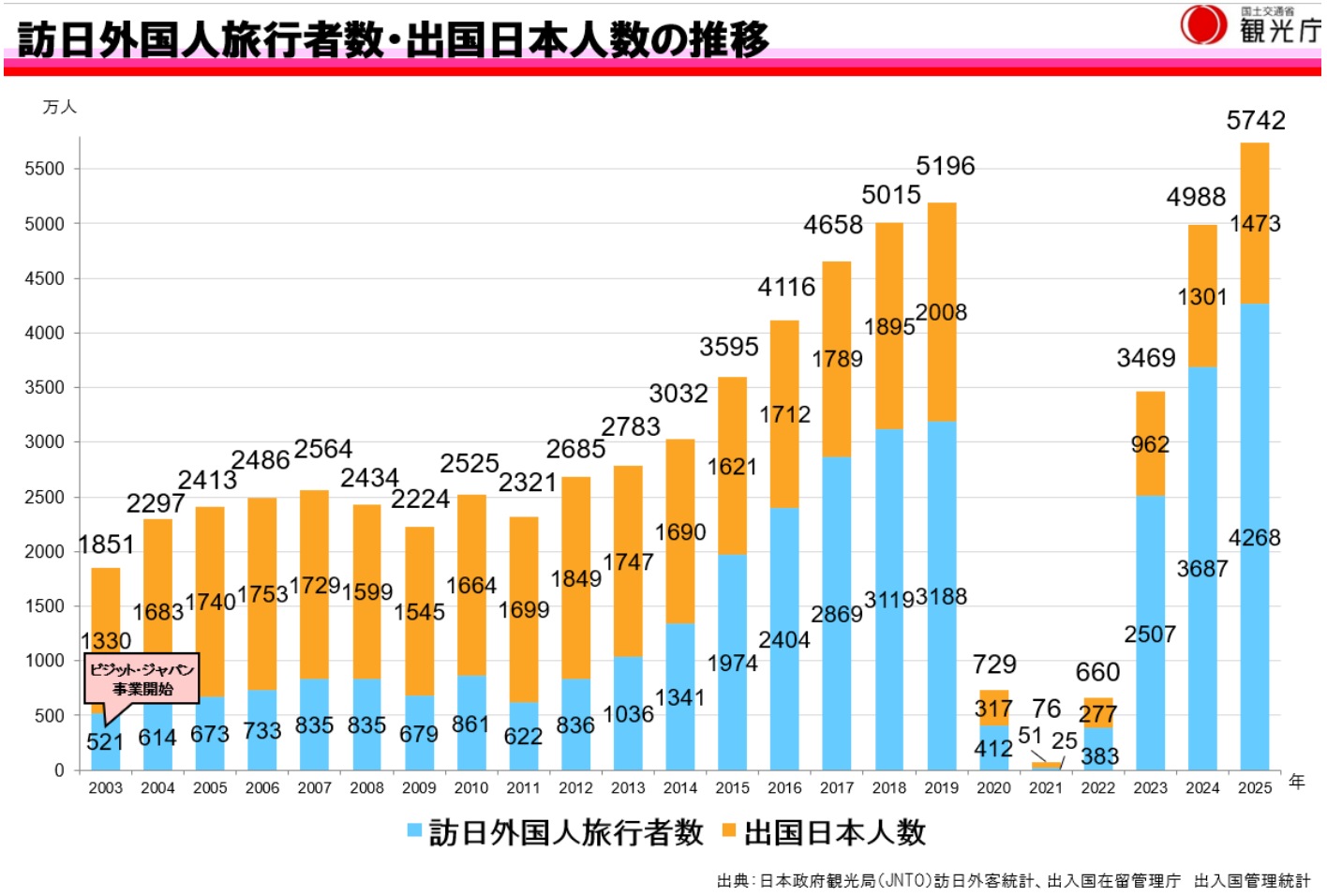
２．避難所で弱者になるのは誰？

想像してみてください！

避難所に日本語が話せない外国人の方が避難してきました。

2．避難所で弱者になるのは誰？

参考データ　訪日外国人の推移



出典：日本政府観光局

藤枝市の外国人人口も増加しています。

2,474人(令和８年３月末時点)、令和２年(1,668人)の約**1.5**倍

２．避難所で弱者になるのは誰？

課題１　ルールや知識の違い

多くの外国人は…

- 地震など自然災害の多い日本に比べ、防災意識が希薄
- 災害に対する予備知識がないことで、
  避難行動が遅れたり、行動がとれなかったりする

災害時における外国人の困りごと

- 災害そのもののリスクがわからない
- どのように避難すればよいかわからない
- 避難所の場所や受けられるサービスがわからない
- 避難所でどのような行動をとればいいかわからない

日本における防災のルールの啓発・浸透により

発災時の避難行動を促すことが必要

２．避難所で弱者になるのは誰？

課題２　言葉の壁

●情報収集が困難

◆日本語での情報収集が難しい

行政やマスメディアから提供される情報は基本的に日本語
専門用語も多く、日本語が未熟な人は「情報弱者」となる

◆母国語での情報収集も十分ではない

ＳＮＳ等で外国語の情報発信も行われているが
対応言語（英語、中国語、ポルトガル語、スペイン語…）や迅速性には限界がある

●日本語の情報を正確に理解できない（専門用語など）

◆<u>日本語がある程度理解できる人のほうが混乱する</u>

たとえば…　・電車が**<u>不通</u>**（「ふつう」を「普通」と勘違い）
・**救援**物資、**給水**車（普段使わないのでわからない）

３．多様性のある避難所とは？

３．多様性のある避難所とは？

避難所にはいろいろな人がくる

考え方や求めることがそれぞれ違う

地域防災のあり方を考えるうえでは
女性を含め、計画段階から
いろいろな人が参加することが重要！

３．多様性のある避難所とは？

防災に関する意思決定の場への女性の参画

①市の防災会議の委員に占める女性割合(藤枝市)

平成２４年　女性の割合・・・０％

令和７年　女性の割合・・・6.3％(３/48人)

②防災会議の委員に占める女性割合(県内)

平成２４年　女性の委員０の市町・・・**２０市町**

令和７年　女性の委員０の市町・・・２市町

⇒女性の参画が増えています！！

3．多様性のある避難所とは？

災害に強い地域社会を作るには

災害リスク軽減（Disaster Risk Reduction＝DRR）
「災害にどう対応するか」のノウハウでなく、
「どうやって災害のリスク（被害）を最小限にするか」を考える

これからの防災

- ✓ **「共助」を機能させるため、地域の防災活動に男女が共に参画する**
- ✓ 「公助」を機能させるため、行政が男女共同参画の視点を持った施策を行う
- ✓ **女性の意見を反映させるため、防災に係る政策・方針決定過程に女性が参画する**

男性中心型の防災 → **男女共同参画**の視点からの防災

出典　内閣府男女共同参画局「男女共同参画の視点からの防災研修」

３．多様性のある避難所とは？

女性の視点をとり入れるための取組

取組１　自主防災組織への女性参画を促進

○女性は「防災の主体的な担い手」という意識

災害に強い地区を作るためには
「多様な視点からの対策が必要」という共通認識を持ち
女性の積極的な参加を進めましょう。

○受け入れる姿勢が必要

多様な人材に参画してもらうためには
参画しやすい環境づくりも必要です。

・参加しやすい時間帯に会議を開く
・会議は短時間で終わらせる　　など

女性に配慮することで男性も参加しやすい状況が
生まれます。

３．多様性のある避難所とは？

女性の視点をとり入れるための取組

取組２　性別による役割の見直し

○防災訓練の役割分担を見直してみる

普段実施している防災訓練で、性別による役割分担をしていませんか？
消火訓練や力仕事に女性が携わったり、炊き出しや救護訓練に男性が加わったりすることで、普段の訓練から役割分担の意識を解消しましょう。

○役員の負担軽減につなげる

男性中心の自主防災組織では、災害時に男性のリーダーに責任が過度に集中します。
男女両方のリーダーが存在することで責任の分散が図られ、同時に性別のギャップによる不満の解消につながります。

3．多様性のある避難所とは？

女性の視点をとり入れるための取組

取組３　備蓄品の見直し

〇通常の備蓄品に加えて、多様性に配慮した備蓄を

女性用品

・生理用品
・おりもの用ライナー　など

介護用品

・大人用紙おむつ
・入れ歯洗浄剤　など

乳幼児用品

・紙おむつ、おしりふき
・粉ミルク（液体ミルク）
・ほ乳瓶、ほ乳瓶用消毒剤
・離乳食　など

プライバシー保護

・簡易テント（物干し場として使用）
・間仕切り
・**中身の見えないゴミ袋**　など

【参考】**掛川市南郷地区女性防災会**

女性自主防災会で「防災倉庫」を設置。

自主防災会の倉庫に備蓄されていないが、女性目線で必要と思われる災害時の必需品を、南郷地区女性防災会として備蓄している。

3．多様性のある避難所とは？

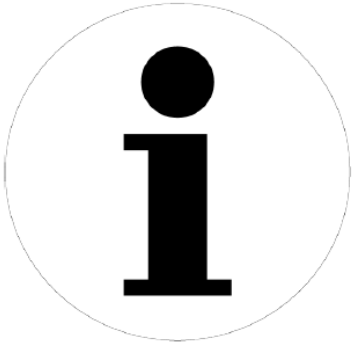
外国人向けの取組 ～ピストグラムの活用～

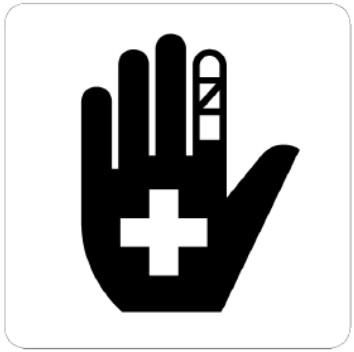
ピクトグラムとは
情報や注意を示すために生じされるサインで表したい情報を単純な図として表示するもの。「絵文字」・「絵単語」とも呼ばれる。

種類

避難場所

受付


インフォメーション


救護所

使い方

漢字や、むずかしい日本語がわからない外国人にも、視覚的に情報を発信することができます。

かな・カナを用いたかんたんな日本語や英語などと組み合わせて表示することでより効果的な発信が可能です。

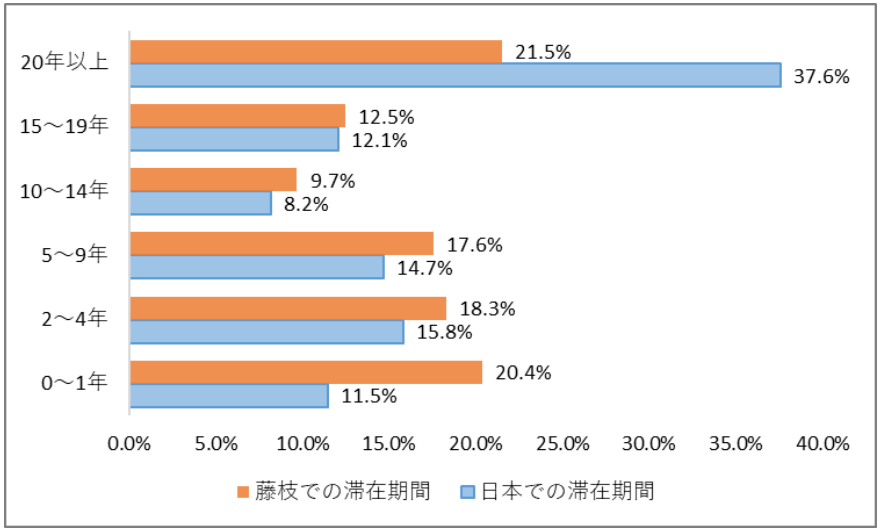
災害時に活用できるピクトグラムと多言語による発信ツールが「自治体国際化協会」のＨＰよりダウンロードできます

3．多様性のある避難所とは？

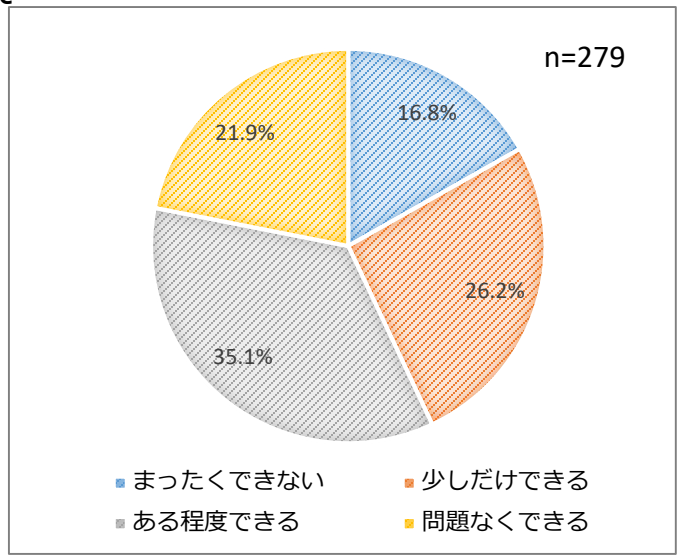
外国人向けの取組 ～外国人住民を「避難所の担い手」に～

藤枝市　外国人市民アンケートより（R6.9月実施）

Q：あなたの滞在期間は



Q：日本語はどの程度できますか



・日本での滞在期間が
「20年以上」や「15～19年」など、
長期にわたり日本に住み続けている
外国人も多くいます

・日本語能力については、日本語での会話が
「問題なくできる」「ある程度できる」
と回答した人が約８割となりました

外国人＝要配慮者とは限らない

・外国人住民も避難所の担い手になりうる

・日本語や日本のルールがわかる外国人住民に
通訳や仲介役をお願いすることも有効

3．多様性のある避難所とは？

「みんなが共に支え助け合う防災ブック」

（令和６年３月　静岡県 男女共同参画課 作成）

静岡県がまとめた

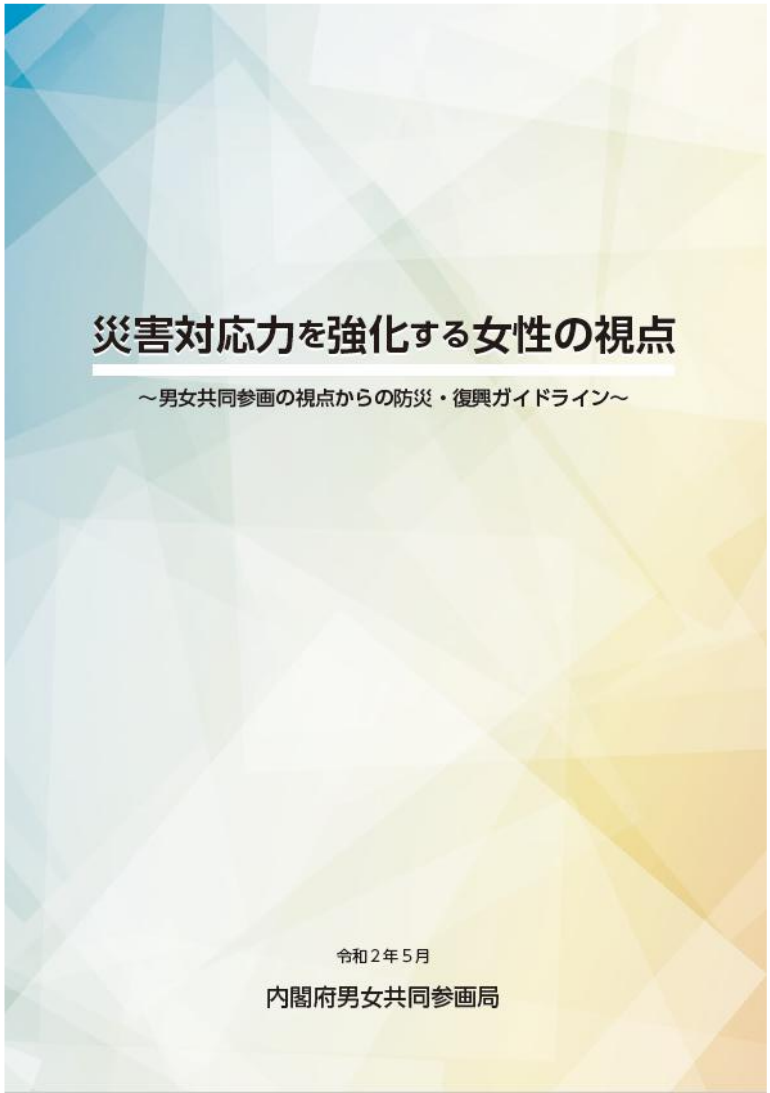
ガイドブック

⇒・多様な視点を取り入れた避難所運営
・日ごろから取り組むべき対策

3．多様性のある避難所とは？

「災害対応力を強化する女性の視点」

（令和2年5月　内閣府 男女共同参画局 作成）



内閣府がまとめた

ガイドライン

⇒・女性の視点を踏まえた防災・災害対応のポイント
・日ごろから取り組むべき対策

3．多様性のある避難所とは？

「災害時における避難行動要支援者支援用防災マニュアル」

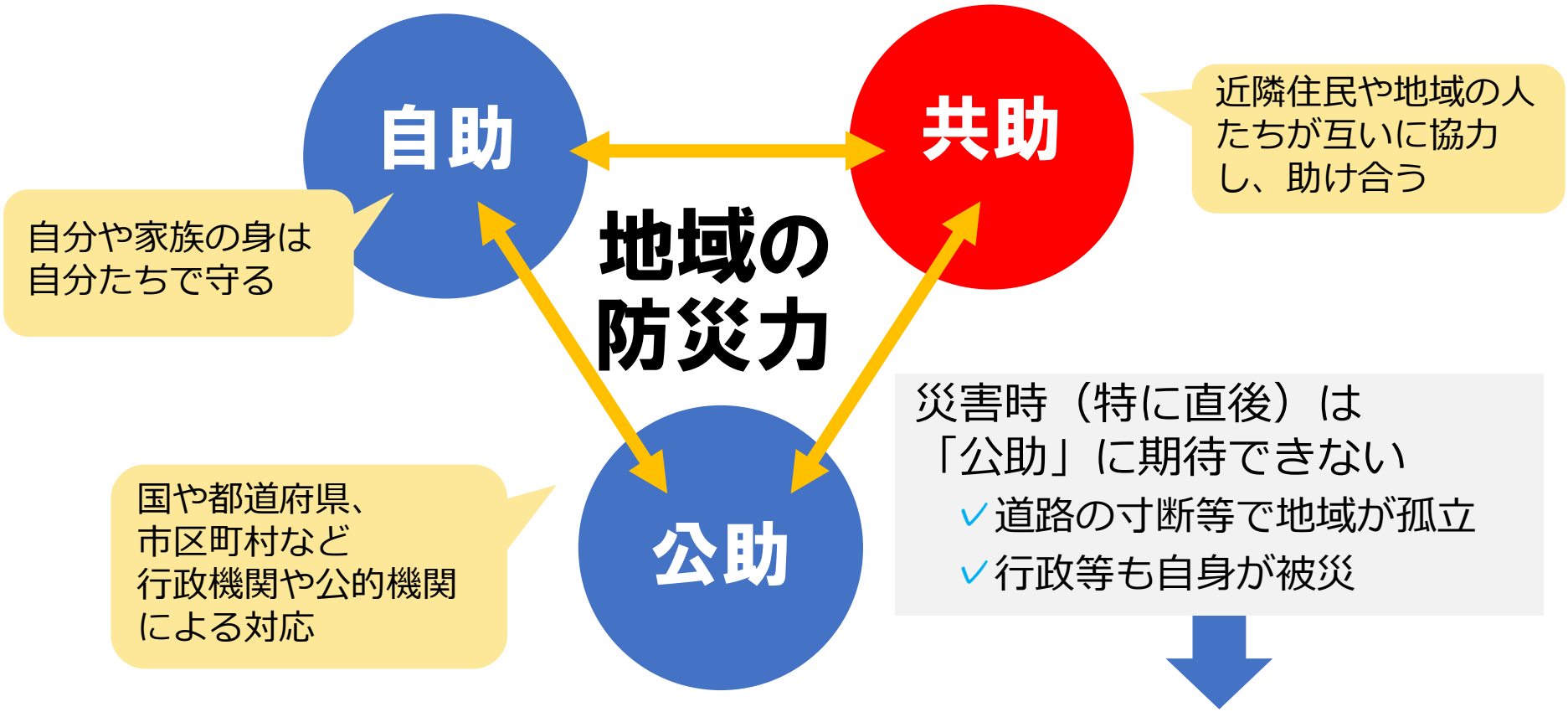
（令和7年１月　藤枝市 福祉政策課 作成）

災害時の要支援者
(障害のある人、持病のある方、外国人 等)

⇒・要介護者の特徴や配慮すべきこと

3．多様性のある避難所とは？

地域の防災力と自助・共助・公助



- （特に直後は）**共助**による災害対策が重要
- 活動の中核となるのが、地域防災リーダーの役割

出典：内閣府地域防災リーダー入門テキストスライド10

3．多様性のある避難所とは？

これからの防災を考えるうえでのキーワード

多　様　性
ダイバーシティ
Diversity

ダイバーシティ
マネジメント

個々の違いを
受け入れ　認め
活かしていく

多様な人がいることを知った避難所運営と、それぞれの能力を活かし地域防災力の向上につなげましょう